

## 平成 30 年度 社会福祉法人トップセミナー 開催要領

# テーマ 社会福祉法人の連携の力で、 地域共生社会を拓く

- 1 趣 旨 

少子高齢・人口減少などによる社会経済の環境変化の中で、誰もが地域でその人らしく活躍できる地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人の力に大きな期待が集まっています。

複雑・多様化する福祉ニーズに対応して、福祉分野だけでなく、商業、農業、観光などと連携し、まちづくりの視点で取り組むことが強調されていますが、その基盤として、やはり福祉の理念と資源と人材を持った社会福祉法人の役割が重要だと考えます。

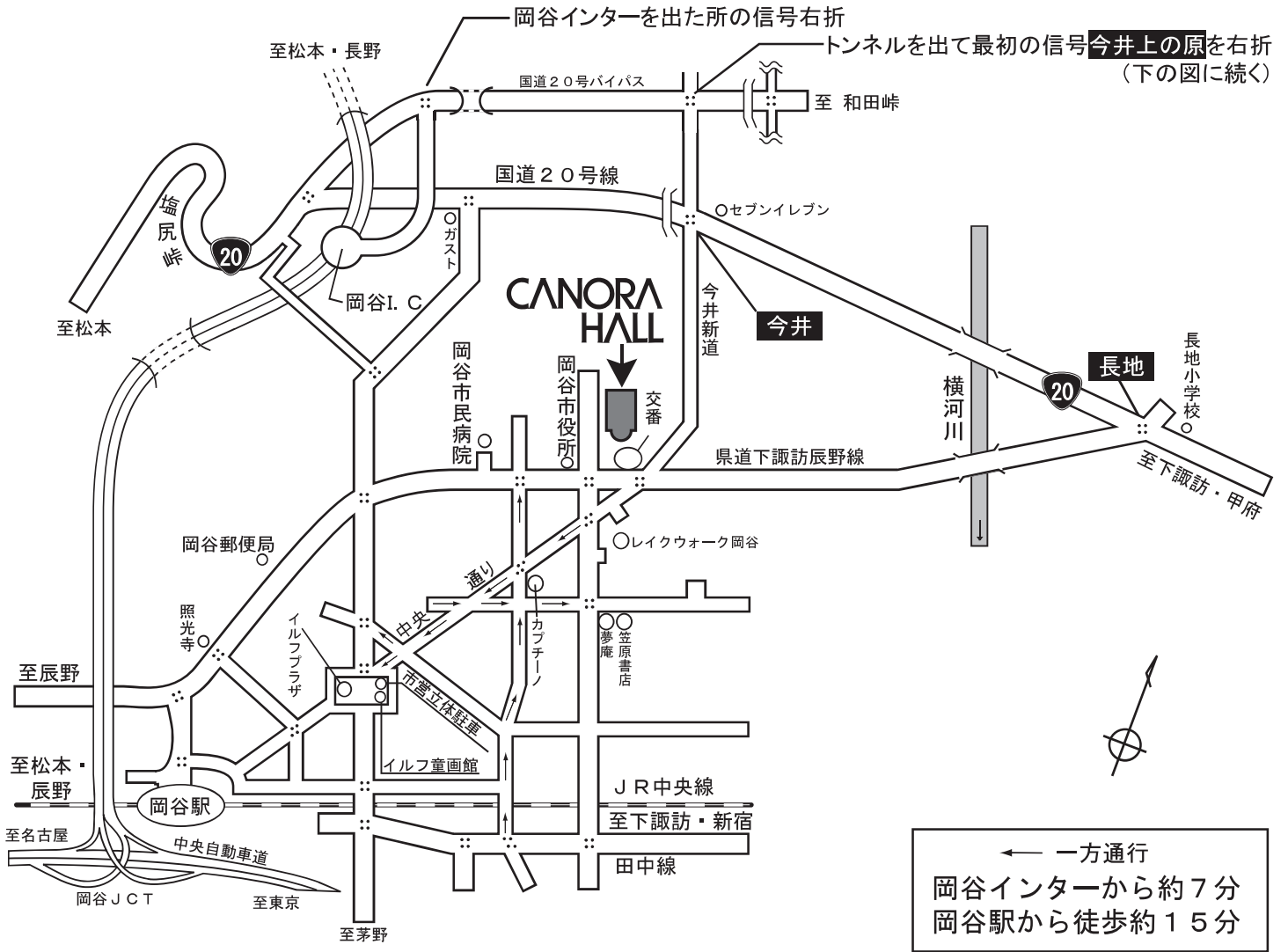
このセミナーでは、各地域における包括的相談・支援体制の構築を目指して、多様な資源を持った社会福祉法人と市町村社会福祉協議会の連携による公益事業の推進をテーマに社会福祉法人、社会福祉協議会の役割を考えます。
- 2 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- 3 共 催 長野県社会福祉法人経営者協議会
- 4 後 援 長野県（予定）
- 5 日 時 平成 30 年 9 月 5 日（水）13 時 00 分～16 時 00 分
- 6 会 場 岡谷市文化会館（カノラホール）小ホール（岡谷市幸町 8 番 1 号）
- 7 参加対象 社会福祉法人役員・幹部職員、社会福祉協議会役員・幹部職員、社会福祉関係団体等
- 8 参加費 一人 2,000 円（事前に請求書を送付します）
- 9 内 容 次ページ参照
- 10 参加申込 別添申込書により 8 月 20 日（月）までに、FAXでお申込みください。  
申込締切後、「受講決定通知兼事務連絡等」をFAXで送信します。  
（8 月 27 日（月）以降送信予定）  
「事務連絡等」に、参加費の振込方法のご案内等を掲載します。
- 11 問合せ先 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ  
〒380-0928 長野市若里 7-1-7 長野県社会福祉総合センター内  
TEL 026-228-4244 FAX 026-228-0130 E-mail [kikaku@nsyakyu.or.jp](mailto:kikaku@nsyakyu.or.jp)

- 自然災害や犯罪予告等により参加者の安全を確保できないと判断し、本セミナーを中止または延期する場合は、長野県社会福祉協議会ホームページ(<http://www.nsyakyu.or.jp>)に掲載して通知しますのでご確認ください。
- 本セミナーに係る個人情報は、本会の「個人情報の保護に関する方針」に基づき適切に取り扱い、他の目的で使用することはありません。

〔日 程〕

時 間	内 容
12:30～13:00	受付
13:00～13:20	開会・あいさつ・オリエンテーション
13:20～13:50 (30分)	<p><b>【実践報告】</b></p> <p>○長野県社会福祉法人経営者協議会「あんしんセーフティネット」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生活困窮や社会的孤立状態にある方々に対して、生活就労支援センター”まいさぼ”と連携しながら、就職活動応援金付職場体験事業（プチバイト事業）や就職支度金給付事業に取り組んでいます。</p> </div> <p>○長野県内社協公益事業「あんしん創造ねっと」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県内の社会福祉協議会における地域の公益的な取り組みの一環として、入居保証事業や身元保証事業、生活困窮家庭への乳児用ミルク等を支給する事業等を行い、制度の狭間に陥りがちなニーズに対して支援の仕組みづくりに取り組んでいます。</p> </div> <p>○長野県内における社会福祉法人連絡会の取り組みについて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域課題の解決に向けた検討や社会福祉法人の社会貢献事業の取り組みを推進するための社会福祉法人連絡会の立上げ実践をご紹介します。</p> </div>
13:50～14:00	休憩
14:00～16:00 (120分)	<p><b>【パネルディスカッション】</b> <b>「社会福祉法人の連携の力で、地域共生社会を拓く」</b></p> <p>○実践報告「“ふくしネットそうじゃ”と連携した、総合相談・生活支援体制の充実に向けて」 佐野 裕二 氏（岡山県総社市社会福祉協議会 事務局長）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総社市社協では、「生活困窮者支援センター」を受託運営するほか、地域福祉や介護部門とも総合的に事業展開を図るなど、地域のニーズキャッチの仕組みづくりに力を入れています。さらに昨年7月には、市内18の社会福祉法人とともに総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（ふくしネットそうじゃ）を設立。 公的資源だけでは対応できない福祉ニーズの解決に、会員法人の力が活かされるよう、コーディネートに取り組んでいます。</p> </div> <p>○実践報告「複数法人の連携による地域公益活動」 斎藤 弘美 氏（社会福祉法人大洋社 常務理事）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東京都大田区では、「おおたスマイルプロジェクト」と題して、複数法人と連携することで、それぞれの法人の特性を活かしながらお互いの社会資源を活用し合い、「子ども支援（キッズれいんぼう）」「若者支援（JOYれいんぼう）」「ひとり親支援（ままれいんぼう）」等様々な取り組みを行っています。</p> </div> <p>○まとめの講義 関川 芳孝 氏（大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類 教授）</p> <p>○質疑、セッション コーディネーター 関川 芳孝 氏（前掲のとおり）</p>
16:00	閉会

# 案内図 中央高速道からの案内



## ホール周辺拡大図

